

上野国府はどこに？ ～上野国府等範囲内容確認調査～

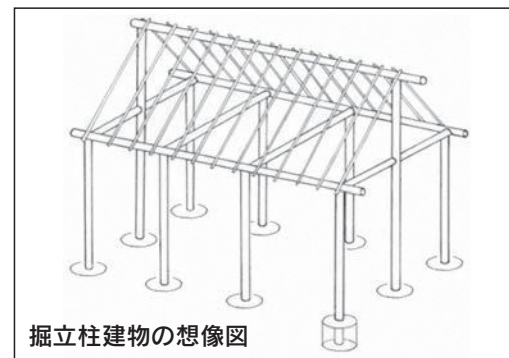


上野国府は、古くから元総社町にある総社神社の周辺に存在していたと考えられてきましたが、詳しい事はよく分かっていませんでした。元総社町周辺で発掘調査を30年近く続けた結果、上野国府の範囲は、元総社町全体がすっぽり入るくらいの広さを持つことが分かり、その範囲の中で、一般の住居跡がたくさん見つかったほか、神社と考えられる建物跡や、鉄製品を作った大きな工房跡なども発見されました。また、総社神社の周りでは、元総社小学校の校庭で掘立柱建物が何棟も発見されたり、その東の牛池川では、国府の儀式で使われた人形の呪符や、「国厨」、「曹司」などの国府に関係した言葉が墨で書かれた土器が発見されています。国府の中心となる建物「国庁」はまだ見つかっていませんが、今後、発掘調査で見つかることを願っています。

掘立柱建物ってどんな建物なの!?

掘立柱建物は、穴を掘ってそこに建物の柱を立てて造られた建物のことです。

食糧を蓄えておく倉庫や地域を支配するための役所の建物としても建てられました。



用語解説

人形（ひとがた）

木の板で作り、自分のけがれを川に流すおまじないに使われたもの。

曹司（そうし）

国府で事務仕事を行ったところ。

国厨（くにのくりや）

国府で働く役人の食事の準備を担当したところ。

平成28年度の発掘調査成果

い・せ・きワールド in 前橋2017



文化財保護課では平成23年度から元総社町内周辺で「上野国府（こうずけこくふ）」という奈良・平安時代の役所跡を探す発掘調査を行っています。この写真は今年度に元総社小学校の校庭で発見された「掘立柱建物（ほったてばしらたてもの）」とよばれる大きな建物の跡です。分かりやすいように柱に見立てた白い筒を立ててその穴の位置を示しています。

この他にも元総社地区では様々な場所で発掘調査を行っています。徐々に新しく道路ができたり、家が建ったりと街づくりが進んでいます。そういった街づくりをするうえで、遺跡が工事などで壊れてしまう前の文化財発掘調査は欠かせません。今年度も新たな発見がありました。

☆☆ 問い合わせ先 ☆☆

平成28年度の発掘調査成果

い・せ・きワールド in 前橋2017

前橋市教育委員会事務局文化財保護課

平成29年3月発行

住 所 前橋市総社町三丁目11-4

電 話 027-280-6511

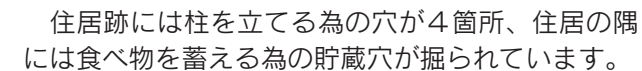
FAX 027-251-1700

Eメール bunkazai@city.maebashi.gunma.jp

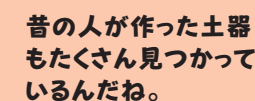


西暦	紀元前 10000	紀元前 200	300	600	710	794	1185	1338	1573	1603	1868	年
	じょうもん 縄文 時代	やよい 弥生 時代	こふん 古墳 時代	あすか 飛鳥 時代	なら 奈良時代	へいあん 平安時代	かまくら 鎌倉時代	むろまち 室町時代	あづち・もやま 安土・桃山時代	えど 江戸時代	めいじ 明治～	
				こだい 古代			ちゅうせい 中世			きんせい 近世	きん・げんだい 近・現代	

むかしの人達って
どんなふう to 暮らして
たのかなあ!?



古代の溝跡



大型店舗の建設に伴い発掘調査を行いました。平安時代の住居跡の密度が高く見つかりました。朝倉伊勢西No.3遺跡のある朝倉小学校の西側地域は、前橋台地を潤す灌漑の起点となる位置に当たり、この住居に住んでいた人々は、この一帯の水田開発を担っていたものと考えられています。